

社会

●改訂のポイント

- ・高校での科目編成の変更を踏まえつつ、世界史に関する内容、主権者教育を目的とした民主政治の歴史内容等の充実
- ・歴史を5時間増の135時間、地理を5時間減の115時間に
- ・防災教育や国土教育などの充実

中学社会目標…社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。

●主な学習内容の変更点

小学

■■…2019年度移行措置で扱われる内容

小 3	1	身近な地域の市町村のようす	地図帳が配布される。
	2	地域に見られる生産や販売のしごと	販売の学習で、日本と世界の国旗を扱う。
	3	地域の安全を守る働き	警察と消防を扱う。(どちらかに重点を置く)
	4	市のようすの移り変わり	昭和、平成などの元号を扱う。租税の役割、少子高齢化、国際化など。
小 4	1	都道府県のようす	47都道府県の位置と名称を扱う。
	2	人々の健康や生活を支える事業	水、ガス、電気の供給、ごみについて扱う。
	3	自然災害から人々を守る活動	県内の地震、風水害、津波、火山、雪害について扱う。自衛隊など。
	4	県内の伝統や文化、先人の働き	医療の分野で活躍した先人が加わる。
	5	県内の特色ある地域のようす	国際交流、地場産産を扱う。
小 5	1	わが国の国土の様子と国民生活	海洋国であることが明記される。領土関連にふれる。
	2	農業や水産業における食糧生産	消費者や生産者の立場についてふれる。
	3	工業生産	消費者や生産者の立場についてふれる。
	4	産業と情報のかかわり	SNS、IOTなどの用語追加。
	5	国土の自然環境と国民生活	自然災害→森林→公害の順で学習。日本全体の自然災害について扱う。
小 6	1	我が国の政治の働き	【政治先習】日本国憲法→国の政治の順。
	2	我が国の歴史上の主な事象	織田・豊臣の天下統一と江戸幕府の始まりを再編。
	3	グローバル化する世界と日本の役割	※「政治 → 歴史 → 国際」の順に学習

中学

【地理】

・大項目が2つ→3つへ。

- ① 「世界と日本の地域構成」
- ② 「世界の様々な地域」
- ③ 「日本の様々な地域」

- ・大項目①「地球のすがた」＋「日本のすがた」に「時差」も大項目①（中1地理前半）で扱う。
- ・大項目③のはじめに「(地形図等を使った)地域調査の手法」。かつて大項目②にあった「身近な地域の調査」が移動。

【歴史】

・大項目が6つ→3つへ。

- ① 「歴史との対話」
- ② 「近世までの日本とアジア」
- ③ 「近現代の日本と世界」

- ・大項目②中項目「古代までの日本」小項目「世界の古代文明や宗教のおこり」でギリシャ・ローマの扱い増。
- ・大項目②中項目「中世の日本」の扱い増。ユーラシアの変化や琉球を扱う。「モンゴル帝国の拡大」など。戦国の動乱は中世に含まれることに。

【公民】

- ・単元構成に大きな変化はないが、テーマとなる用語等が、現在の社会情勢（グローバル化、AI、防災、地域連合変化 [USMCA] など）を考慮したものに変更されていく。
- ・新指導要領でも、大項目の順は現行の指導要領と同じで「現代社会」→「経済」→「政治」。